

# 札幌の魅力を道外に発信

## 地域おこし協力隊 さんじょうりゅうや 三條 龍弥さんを紹介!



市では、道外の若い世代に向けた市の魅力の発信や移住促進を目的として、昨年9月から「地域おこし協力隊」制度を導入しました。今回ご紹介する三條 龍弥さんは、東京での生活を経て札幌へ戻ってきたUターン移住者。現在は、自身の経験を生かして道外の若い世代へ札幌の暮らしを伝える活動を行っています。

詳細 政策企画部企画課  
☎211-2192

◀昨年9月に行われた  
委嘱式の様子

### 三條さんが語る札幌の魅力

札幌は都市と自然が程よく調和していて暮らしの質が高く、心も穏やかになり新しい挑戦もしやすい街だと感じています。積雪が多く生活が不便に感じる方もいるかと思いますが、ここまで四季を感じられる都市は他にはないと思います。人の温かさや美しい景観も魅力の1つです。個人的には食などの日常の楽しみが多いところも好きな点です。自分が生まれ育った札幌が持つ大きな可能性をより多くの方に伝えていきたいです。



◀北海道さっぽろ圏移住フェアの移住相談の様子。雪への対応をはじめとした冬の暮らしについての相談が多く寄せられました

### 協力隊としての活動とその感想

2月の「北海道さっぽろ圏移住フェア<sup>※</sup>」をはじめとするイベントを通じて、多くの方と直接お話しする機会がありました。札幌への関心の高さを改めて実感する一方、不安や心配の声もあり、正しい情報を届けながら街の魅力を発信する責任の大きさを感じています。

※毎年1回開催している、札幌市と近隣11市町村による東京での移住相談イベント。生活環境や仕事、住まい、冬の暮らしなど、各自治体の担当者などに直接相談できます

### 今後の活動への意気込み

行政だけではなく民間企業の皆さまとも力を合わせることで、移住を前向きに検討する方をより増やしていくことができると考えています。さらに、札幌の未来をどう豊かにしていくか、今後は将来を担う学生などの若い世代の方々とも意見を交わしていきたいです。

### 地域おこし協力隊とは

三大都市圏などから移住し、地域の課題解決や魅力発信に取り組む方々を「地域おこし協力隊」として任命する、総務省の制度です。隊員は全国の自治体で、地場製品の開発、観光振興や農林水産業の支援といった「地域おこし」に携わりながら、その土地への定住を目指します。市でも、道外の方を中心に積極的に人を呼び込むことで人口減少を緩やかにするために、この制度を活用しています。

### 三條 龍弥さんの略歴

札幌市西区出身。アート系広告制作会社で経験を積む。その後、大手情報・通信企業にてAIロボット開発に従事。また、大手広告代理店にてテクニカルアーティストとして国内外大手企業の企画を推進。令和3年には大手IT関連企業にて、会社のブランディングなどを担当。現在は、自身が創業した企業にて、アート×クリエイティブ×テクノロジー×ビジネスという形で、領域を越境しながら活動。